

Mactel Debian の深遠なる世界

2006 年 7 月 15 日版

上川

2006 年 7 月 15 日

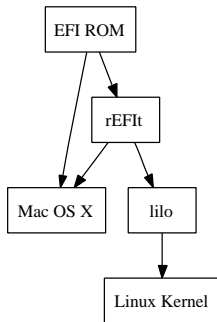
MactelLinux 現状の概要

- 新アーキテクチャ
起動部分は EFI

EFI という福音

	BIOS	EFI
パーティション	MBR:4 個 (「拡張」可能)	GPT: 128
ファイルシステム	魔窟	FAT を読める
実行フォーマット	なにそれ?	PE32+形式の実行ファイル

起動シーケンス



EFI コマンドライン

MS DOS 風味のコマンドラインが利用できるようになる。
ブートルード以前の段階でコマンドラインが利用できるように!

```
EFI> fs0:
```

```
EFI fs0:> cd EFI
```

```
EFI fs0:\EFI> cd dancer
```

```
EFI fs0:\EFI\dancer> cd refit
```

```
EFI fs0:\EFI\dancer\refit> dir
```

```
refit.efi
```

```
EFI fs0:\EFI\debian\refit> refit
```

できたこと

- rEFIt を Debian 上でコンパイルできるように
- refit Debian パッケージの作成、アップロード (375999)
- それっぽく動作試験
- gptsync コマンドの提供

できてないこと

- インストール手法の確立
MacOSX の bless コマンドに依存しない方法がない
- debian-installer への統合
- rEFIt でコンパイルできないツール多数
gptsync.efi が動作していない
gnu-efi の efilib がどうも古いようだ (376000)
- バイナリ配布されているツールの発見 (ソースはどこ?)
- elilo がうまくうごかない (376002)
- Debian のカーネルはよくカーネルパニックをおこす
(Linus の 7 月 2 日の git ツリーは安定動作、Mactel 用のパッチが多数マージされているようなのでお薦め)

MBR vs GPT

Disk /dev/sda: 80.0 GB, 80026361856 bytes
255 heads, 63 sectors/track, 9729 cylinders
Units = cylinders of 16065 * 512 = 8225280 bytes

Device Boot Start End Blocks Id System

/dev/sda1 1 26 204819+ ee EFI GPT

/dev/sda2 26 2637 20971520 af Unknown

/dev/sda3 * 2637 2758 976563 ef EFI (FAT-12/16/32)

/dev/sda4 2758 5190 19531250+ ef EFI (FAT-12/16/32)

major minor #blocks
name

8 0 78150744 sda

8 1 204800 sda1

8 2 20971520 sda2

8 3 976563 sda3

8 4 19531250 sda4

8 5 2929688 sda5